

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	坂詰史博
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3423
事務事業名	4178 勤労者福祉事業											
所 属	150200 産業振興部・産業連携開発課											
施 策	05052900 労働環境の整備と勤労者福祉の増進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	050102 労働費・労働諸費・労働諸費										
	事業	010000 勤労者福祉事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>勤労者が生き生きと働き、実りある生活ができるよう、福祉の向上を図る。労働条件に関する調査を通して労働環境を正しく把握し、勤労者福祉や雇用促進施策に反映させる。</p>						<p>勤労者生活資金の融資あっせん及び利子補給、中小企業退職金共済加入奨励補助、勤労者住宅建設資金融資利子補給などを実施し、勤労者福祉の増進を図る。</p> <p>自転車駐車場の管理について、関係機関と協力・連携をしながら整理、防犯に努めていく。自転車駐輪場の課題解決に向け、利用団体が連携して検討、活動をしている。効果として、各種補助制度の充実、自転車駐車場の整備をはじめとした、勤労者がいきいきと働き実りある人生を送るための条件整備がされることで、住みやすく働きやすい環境となり、市の活力の維持増進が図られることが期待される。</p>						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整、7 長野県賃金実態調査	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整、7 長野県賃金実態調査
平成29年度 予定	平成30年度 予定
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整、7 長野県賃金実態調査	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整、7 長野県賃金実態調査
平成31年度 予定	平成32年度 予定
1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整、7 長野県賃金実態調査	1 勤労者生活資金（預託、利子補給）、2 勤労者住宅建設資金融資利子補給金、3 勤労者資金融資保証料補給金、4 中小企業退職金共済加入奨励補助金、5 自転車駐車場、6 労働団体との連絡調整、7 長野県賃金実態調査

指標名	勤労者互助会の会員数				
算式	年度末の会員数で比較する				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	1,400	1,415	1,430	1,445
	実績				1,460
指標選定の理由	須坂市の勤労者の多くは中小企業で働く者であり、労働条件や福利厚生面で大企業と格差があることから、中小企業の福利厚生を高めることが福祉の向上につながるため。				
最終年度目標の根拠	会員の入脱会が常にある中で、平成32年度に1460人を達成することを目標とした。				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		125,998	129,072
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	120,000	120,000
一般財源	5,998	9,072	
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.5	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,162.4	2,162.4
	嘱託職員	1,352.5	1,352.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,514.9	3,514.9
市民一人当たりの経費		2.5	2.5
総額		129,512.9	132,586.9

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	230	消耗品 71 食糧費 15 光熱水費(電気料) 144
13節 委託費	836	自転車駐車場管理委託 491 放置自転車処理運搬委託 14 シルバー人材センター委託 331
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,868	会議出席負担金 4 各種補助金 4,864
その他	120,064	役務費(郵便料) 65 貸付金(生活資金預託金) 120,000

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	313	消耗品 60 食糧費 24 光熱水費(電気料) 162 修繕料 67
13節 委託費	892	自転車駐車場管理委託 491 放置自転車処理運搬委託 44 ごみ等処理委託料 4 シルバー人材センター委託 353
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,774	会議出席負担金 4 各種補助金 7,770
その他	120,093	役員費(郵便料) 93 貸付金(生活資金預託金) 120,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	勤労者向けに様々な施策を行っており、勤労者が安心して暮らすための事業として必要であり、多くの勤労者に利用いただいている。駅前駐輪場の管理を行っているが、需要の減少はあるもののまだまだ利用者は多く、利用者の利便性と防犯の観点から重要な事業であり必要性は高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	協調融資については、利用者がリフォームなどを発注することを通じて地域経済の活性化も期待できる有効性の高い事業である。駅前駐輪場は、駅に近い場所に自転車が集中し乱雑になるが、本事業により放置自転車の撤去や自転車の整理、清掃が適切に行われ、駅前の美観の維持と自転車盗など犯罪の抑止に繋がっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	委託先において効率的な運用を行っている。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

<ul style="list-style-type: none"> 勤労者の生活支援のための、補助金、協調融資、労働団体との連携など様々な施策を行い、成果を上げている。 機会をとらえて、各種制度の周知に努めたい。 勤労者互助会の会員拡大のため、労金須坂支店にパンフレットを置いていただく。 勤労者互助会の納涼パーティーなどの機会に、各種制度のPRを行う。
--

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

勤労者の福祉増進のための各種施策は、制度として定着してきており、引続き制度の維持に努める。自転車駐車場の放置自転車については、関係機関と連携を図りながら対応していく必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

勤労者福祉の増進に向けた各種施策を展開している。勤労者互助会は、入会促進を図った結果、前年度と比較し会員数は増加傾向にある。引続き勤労者の福祉向上のためPRを行っていく。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--